

降下ばいじん、加古川製鉄所 自主管理目標値 (環境対策効果の予測値)
未達成について

加古川製鉄所では、08年4月から粉塵対策の効果を確認するため、降下ばいじんに関して製鉄所影響値 3.0t/km²/月以下 (対象測定地点: 加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校の3箇所) の自主管理目標値 (環境対策効果の予測値) を設定し、その達成に注力して参りました。08年7月に自主管理目標値を超過したことがあったものの、それ以降は安定して目標値を下回る実績を上げてきました。

しかし、このほど纏まりました5月の実績値において未達成となりましたことから、その内容を以下に報告させて頂くとともに、今後の対応についてお知らせ致します。

地域住民の皆様には大変ご迷惑をお掛けすることとなりましたことを、深くお詫び申し上げます。

<加古川製鉄所 製鉄所影響値 10年度実績推移>

測定地点	単位	4月	5月
加古川神鋼ビル	t/km ² /月	1.43	3.12
別府小学校	〃	0.86	1.88
尾上小学校	〃	1.14	1.73

(出所: 加古川市測定データ)

<加古川神鋼ビル 製鉄所影響値(不溶性降下ばいじん)、

09年5月と10年5月 成分比較>

成分項目	単位	09年5月	10年5月	差異
鉄分(Fe ₂ O ₃ 換算)	t/km ² /月	0.51	0.52	+0.01
強熱減量 (植物・コークス・石炭成分など)	〃	0.76	1.14	+0.38
その他 (土砂成分など)	〃	0.65	1.46	+0.81
合計 (製鉄所影響値)	〃	1.92	3.12	+1.20

(出所: 加古川市測定データ)

昨年5月との比較では、鉄分は概ね横這いでしたが、強熱減量とその他が増加しました。6月中旬に加古川市より降下ばいじん速報データを受領した時点から、日々の粉塵パトロールに加え、緊急的にパトロールを強化し、発塵箇所の抽出と措置および設備の健全性確認を実施してきました。

その結果、強熱減量につきましては、コークス工場およびその周辺の石炭・コークス粉が飛散したと推定しており、大型吸引車両を増車し、清掃作業の強化を実施しています。尚、土砂成分などのその他につきましては、パトロールや設備点検でも原因が特定できておらず、これまで取組んできました散水・清掃・集塵機の性能維持等とパトロールの強化を継続していくことにより、低減していく所存です。

<尾上善則 常務執行役員 加古川製鉄所長 コメント>

これまで実施してきた各種粉塵対策により、一定の効果を挙げ、昨年度は自主管理目標を達成致しました。本年度も対策の実行に気を抜くことなく取組んできましたが、5月において自主管理目標値を超過させてしまいました。大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

現在、関西熱化学とともに進めている粉塵対策を実行していくことで、安定して目標値を達成するべく注力して参ります。

以上